

第2節

「豊かな人生を支える福祉社会の実現」

一人ひとりの市民が、その生涯を通してそれぞれの生活に合わせた成長発達ができ、いつでも心のほりをもった豊かな人生を送れるよう、保健・医療・福祉の機会を拡充していきます。

また、思いやりのある福祉が充実し地域の活力を維持し増進できる地域社会をめざし、互いに支えあって生きることができ福祉社会を実現します。

～松戸市基本構想 施策の大綱～

政 策 4

～健康に暮らすことができるようにします～

後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

自らの健康に関心を持ち、社会参加することを通して、一人ひとりが目的を持った生きがいのある暮らしを生み出します。

指標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
生きがい感を持っている人の割合	めざそう値 (目標)	—	82.0%	80%	—	79%	80%
	実績値	79.0%	79.1%	75.4%	76.9%		
本人が健康であると思う人の割合	めざそう値 (目標)	—	66.4%	67%	—	67%	70%
	実績値	65.9%	65.2%	63.6%	65.9%		
健康づくりに関する講座やイベントの参加者数	めざそう値 (目標)	—	—	1300人	—	1,100人	1,400人 (※)
	実績値	1,044人	879人	444人	2,354人		
ホームドクター (かかりつけ医)を持つ人の割合	めざそう値 (目標)	—	—	60%	—	60%	65%
	実績値	56.5%	56.5% (21年度)	62.9%	62.9% (25年度)		
多様な世代と交流する機会のある人の割合	めざそう値 (目標)	—	—	7%	—	7%	10%
	実績値	5.6%	5.6% (21年度)	4.1%	5.2%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策4

健康に暮らすことができるようにします

1. 生きがいを持ちます

1. 現況と課題

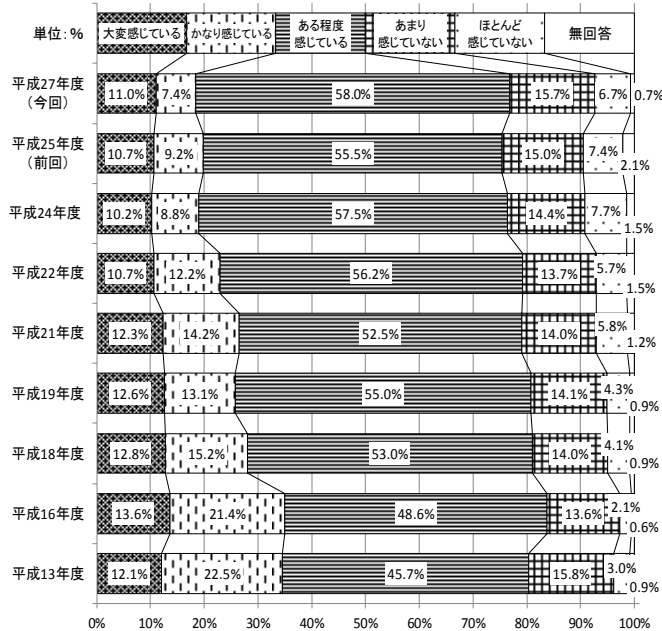
生涯を通して、その人らしい社会参加をすることで、生きがいを持つことは重要です。市民意識調査によると、「生きがい感を持っている人の割合」は、平成13年度80.3%、平成24年度76.5%と比較的高い割合を維持しています。今後も、心身ともに健康を維持することは、生きがい感の向上にとって大切です。これからは、高齢化がますます進むことから、高齢者がスポーツや趣味の活動、地域活動を通して生きがい感をもてるよう支援するとともに、いつまでも働き続けられるよう、雇用就労環境の整備も重要な課題です。

障害のある人にとっての就労は、自分を肯定し社会の中で自信を持って生きてゆくことにつながります。また、途中で障害を持った人にとっては、働くことで健康を取り戻し、自信と希望を回復するという心身のリハビリテーションにつながります。

【特筆すべきニーズの変化】

・高齢者の増加に伴い、生きがいの創出が望まれています（ニーズの増）

●生きがい感を持っている人の割合



出典 松戸市市民意識調査(27年度)

●松戸市の65歳以上人口と高齢化率

	H23	H24	H25	H26	H27
総人口	491,302	488,339	485,876	486,263	487,919
65～69歳	31,600	31,253	33,052	33,620	35,139
70～74歳	26,499	27,981	28,850	30,809	31,229
75～79歳	19,659	20,898	22,149	22,700	23,311
80～84歳	11,185	11,997	13,009	14,031	15,193
85～89歳	5,802	6,214	6,677	7,200	7,784
90歳以上	3,127	3,356	3,561	3,868	4,113
合計	97,872	101,699	107,298	112,228	116,769
高齢化率	19.9%	20.8%	22.1%	23.1%	23.9%

※各年4月1日現在

(住民基本台帳と外国人登録人口を集計したもの)

出典 高齢者支援課資料

●生きがいを感じる事柄

	回答者数	働くこと(自営・家事等を含まず)	家族の世話や介護	近所や友達とのつきあい	自分の健康や体調	家族や友人とのふれあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養の向上・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	おしゃれや服装	家族との団らん	テレビやラジオの視聴	信仰活動	旅行や買い物などの外出	施設での行事	食事
若年者	944人	533人	217人	267人	—	—	258人	250人	16人	1人	36人	202人	445人	270人	57人	488人	—	—
		56.5%	23.0%	28.3%	—	—	27.3%	26.5%	1.7%	0.1%	3.8%	21.4%	47.1%	28.6%	6.0%	51.7%	—	—
一般高齢者	2,174人	801人	357人	806人	—	—	675人	735人	194人	113人	157人	611人	878人	1,080人	125人	1,250人	—	—
		36.8%	16.4%	37.1%	—	—	31.0%	33.8%	8.9%	5.2%	7.2%	28.1%	40.4%	49.7%	5.7%	57.5%	—	—
在宅介護保険認定者	1,389人	128人	140人	310人	—	—	101人	291人	38人	88人	35人	224人	534人	668人	118人	282人	—	—
		9.2%	10.1%	22.3%	—	—	7.3%	21.0%	2.7%	6.3%	2.5%	16.1%	38.4%	48.1%	8.5%	20.3%	—	—
介護保険施設利用者	174人	—	—	—	55人	84人	—	24人	—	—	—	—	—	54人	6人	28人	70人	91人
		—	—	—	31.6%	48.3%	—	13.8%	—	—	—	—	—	31.0%	3.4%	16.1%	40.2%	52.3%

※ 回答者は日常での生きがいに関して「感じている」と回答した人

※ 網掛け箇所は各調査の上位3項目

出展 いきいき安心プランVまつど(26年度)より一部抜粋

2. 施策の展開方向

「シニア交流センター」や「老人福祉センター」では、高齢者が、住みなれた地域や家庭において自己の個性や能力を最大限に発揮し、生きがいを持って生涯を過ごすことができるように、様々な高齢者の状況に合わせた支援を充実させていきます。

地域の高齢者の自主組織である「老人クラブ」を地域福祉活動の担い手として、会員の方々にとって魅力ある活動として発展できるよう支援していきます。

高齢者の経験や技能を生かした就労を援助するため、「公益社団法人松戸市シルバー人材センター」を支援します。

3. 施策を推進していく上での課題

高齢者の増加に伴い、社会参加できる場の整備や多様化する就労、雇用機会の確保が求められています。

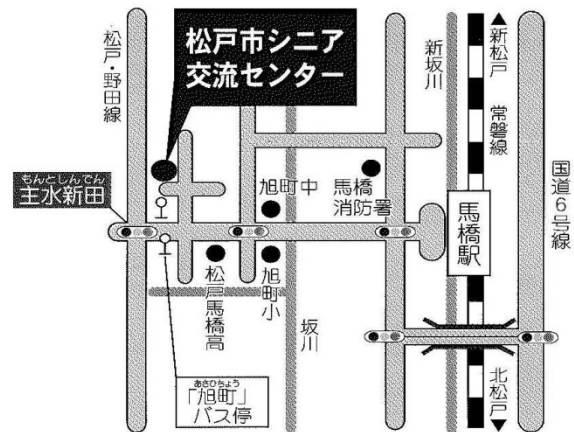
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 高齢者の生きがいを支援することを目的としたシニア交流センターがあります（強み）
- ② 健康や生きがいのために仕事をしたいと考えている高齢者の就労や雇用を確保するシルバー人材センターがあります（強み）

●松戸市シニア交流センターの概要

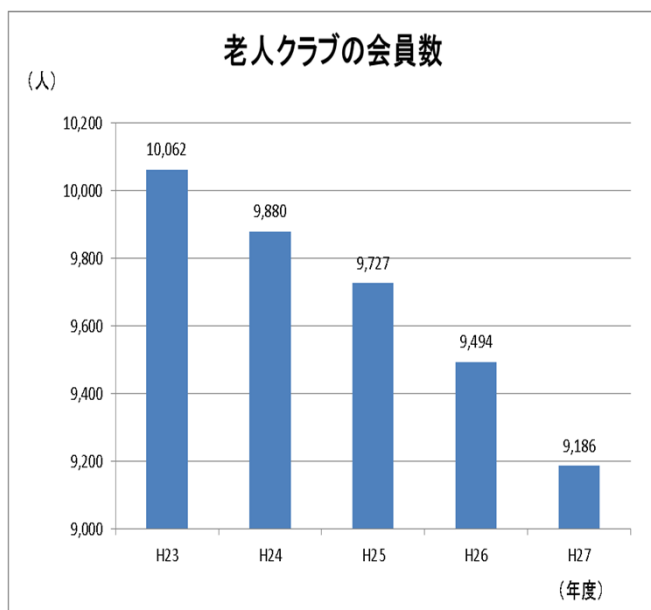
基本理念：はたらく・まなぶ・ふれあう・つどう
開設年月：平成18年4月
所在地：松戸市旭町一丁目174番地
施設概要：RC造3階建 施設面積2,019㎡ 延床面積1,360㎡
利用時間：毎月第4日曜日、年末年始を除く、 毎日午前9時～午後6時
【利用実績（平成26年度）】
大・小会議室 477回 延8,490人
交流サロン 729人

出典 高齢者支援課資料



●老人クラブの会員数

出典 高齢者支援課資料



●シルバー人材センターの事業概要

出典 高齢者支援課資料

年度	会員数	就業実人員 (人)	就業率	受注件数 (件)
22	1,995	1,662	83.31%	6,872
23	2,007	1,679	83.66%	7,461
24	2,076	1,768	85.16%	7,822
25	2,054	1,748	85.10%	8,264
26	2,059	1,734	84.20%	8,276

(各年度3月末日現在)

政策4

健康に暮らすことができるようにする

2. 病気を予防し、早期に発見します

1. 現況と課題

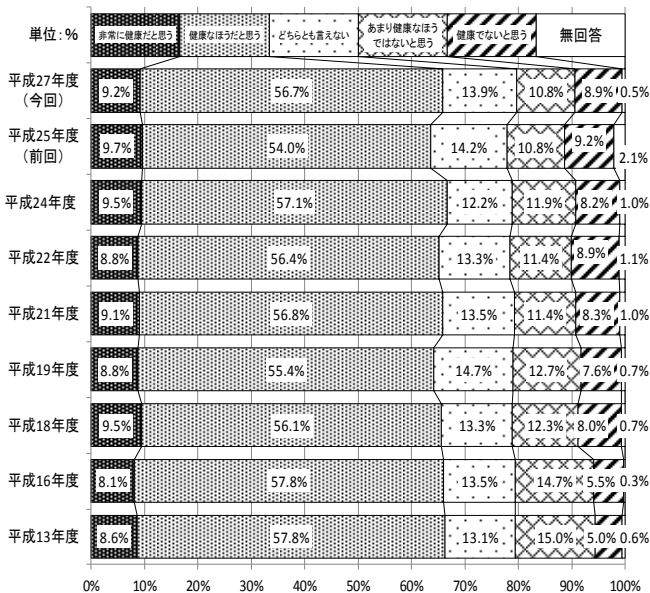
生涯を通して、その持てる能力を発揮し豊かな人生を送るために、その前提となるのは健康です。市民意識調査によると、「本人が健康であると思う人の割合」（非常に健康だと思う、健康な方だと思う）は、平成24年度66.6%、平成25年度63.7%でした。まず、自分の健康を自分で守り、つくる努力をすることが重要な課題です。

少子高齢化が進み、日常生活において介護が必要な人や、がん、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病が原因で亡くなる人が増加しています。市民一人ひとりの健康に対する意識の高まりが、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防につながります。

【特筆すべきニーズの変化】

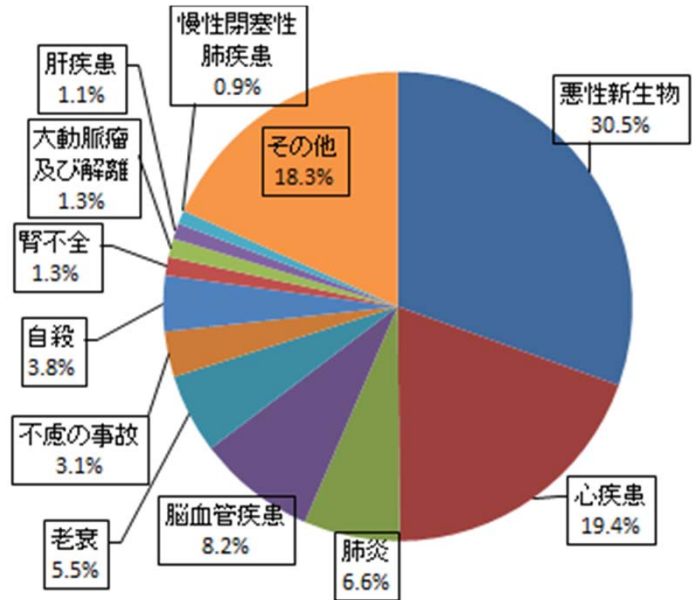
- 市民は健康の維持・増進に関する意識が高まっています（ニーズの増）

●本人が健康であると思う人の割合



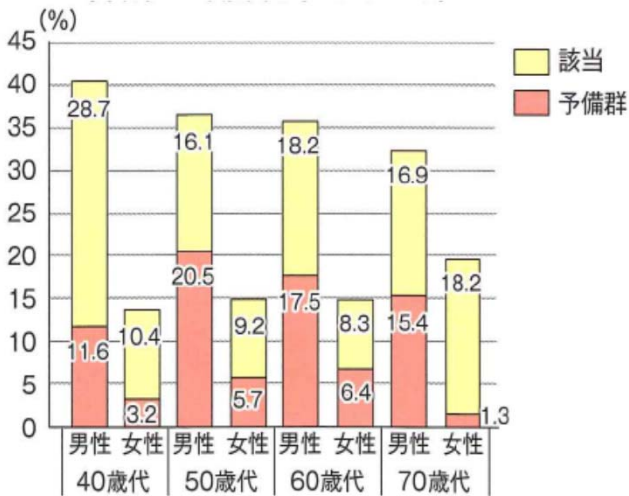
出典 松戸市市民意識調査(27年度)

●松戸市の死因分類



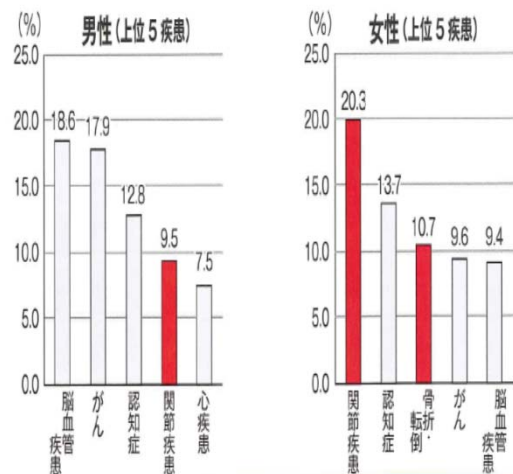
出典 平成25年度千葉県衛生統計年報

●メタボリックシンドローム該当割合



出典 市民アンケート(25年度)

新規要介護認定者の傷病割合(平成24年度 松戸市介護保険認定審査会会議(主治医意見書)より)



出典 健康松戸21Ⅲ(概要版)

2. 施策の展開方向

松戸市健康増進計画健康松戸21Ⅲでは、「市民が主役！自ら取り組み、地域で共に支え合い、健康で心豊かに暮らせるまちづくり」を基本理念に、健康で過ごせる期間を延ばし（健康寿命の延伸）、誰もが健康に暮らせるまちづくり（健康格差の縮小）を推進していきます。

また、長年にわたる生活習慣に起因する生活習慣病をはじめ、がん、女性特有の疾病など各種健康診査サービスの充実を図り、受診しやすい健（検）診体制の整備及び普及啓発を図ります。

3. 施策を推進していく上での課題

健康に関する各種制度が年々変化している中で、病気の予防や早期発見につなげていくためには、健（検）診や予防接種だけでなく生活習慣病等に関する情報をわかりやすく市民に伝え、市民自ら健康づくりに取り組めるようにしていく必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市の保健福祉センターが3か所あり、健康づくりの拠点となっています（強み）
- ② 市民の健（検）診等の受診率が低く、健康に関心はあっても行動に結びついていない状況が見られます（弱み）

●健（検）診の種類

対象者一覧（※子宮頸がん、乳がん検診については女性のみ）

健（検）診の種類	対象年齢					
	20	30	35	40	50	75
子宮頸がん検診	→					
乳がん検診	→					
肺がん検診	→					
大腸がん検診	→					
胃がん検診	→					
女性の健康診査	→					
後期高齢者健康診査	→					

出典 健康松戸21Ⅲ（概要版）

●平成26年度がん検診の実施状況

	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肺がん	大腸がん
対象者数	78,878	49,732	70,065	78,878	78,878
受信者数	7,584	19,661	21,969	19,458	18,058
受診率	9.6%	39.5%	31.4%	24.7%	22.9%

※受診率は国のがん対策推進基本計画に基づき、40～69歳（子宮頸がんについては20～69歳）を対象として算出しました。

出典 27年度健康推進課事業概要

●予防接種の種類

※国の法定基準で積算しているため100%を超える場合があります。

予防接種名	対象年齢	26年度接種率
Hib感染症	生後2か月～5歳未満	101.5%
小児の肺炎球菌感染症	生後2か月～5歳未満	100.9%
DPT-IPV	生後3か月～7歳6か月未満	97.9%
不活化ポリオ	生後3か月～7歳6か月未満	21.5%
BCG	1歳未満	99.9%
水痘	1歳～3歳未満	65.9%
MR第1期	1歳～2歳未満	93.7%
MR第2期	小学校就学前1年間 (就学前年度4/1～3/31)にある者	93.9%
日本脳炎第1期	生後6か月～7歳6か月未満	97.5%
日本脳炎第2期	9歳～13歳未満	34.7%
DT2期	11歳～13歳未満	76.5%
ヒトパピローマウイルス感染症	小学6年生～高校1年生 に相当する年齢の女性	0.1%
インフルエンザ	65歳以上の者 (一部60歳～65歳未満の対象者あり)	46.4%
高齢者の肺炎球菌感染症	65歳以上で年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳 になるの者(一部60歳～65歳未満の対象者あり)	32.1%

出典 健康推進課予防衛生班資料

●保健福祉センターで実施している事業

	20歳～30歳～	40歳～50歳～	60歳～70歳～	
健康教育	健康相談	→		
	健康教育	→		
	パートナー講座 ・ゲートキーパー養成研修 ・禁煙について ・生活習慣病について ・健康松戸21Ⅲについて	→		
	禁煙個別健康教育	→		
	食生活講座	→		
	依頼による健康教育(老人クラブ・町会・地区社会福祉協議会等)	→		
	わんぱく歯科くらぶ保護者	→		
	高齢者の食生活講座	→		
	親子クッキング教室	→		
	健康手帳の交付	→		
健診・検診	肝炎ウイルス検診(40歳以上)	→		
	女性の健康診査(35～39歳)	→		
	骨粗しょう症検診(35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性)	→		
	成人歯科健康診査(20歳以上)	→		
	胃がん検診(40歳以上)	→		
	乳がん検診(30歳以上の女性)	→		
	(エコー検診は35歳～39歳、マンモグラフィ検診は40歳以上の女性)	→		
	子宮がん検診(20歳以上)	→		
	HPV検査(30歳・35歳の希望者)	→		
	肺がん検診(40歳以上)	→		
大腸がん検診(40歳以上)	→			
結核住民健康診断(40歳以上)	→			
その他	献血推進事業	自殺対策事業	健康松戸21Ⅲ推進業務	
	口腔保健週間事業(歯の健康チェック)			
	健康づくり啓発事業(松戸市ご長寿ハッピーコンテスト)			

出典 27年度健康推進課事業概要

政策4

健康に暮らすことができるようにします

3. 病気を治します

1. 現況と課題

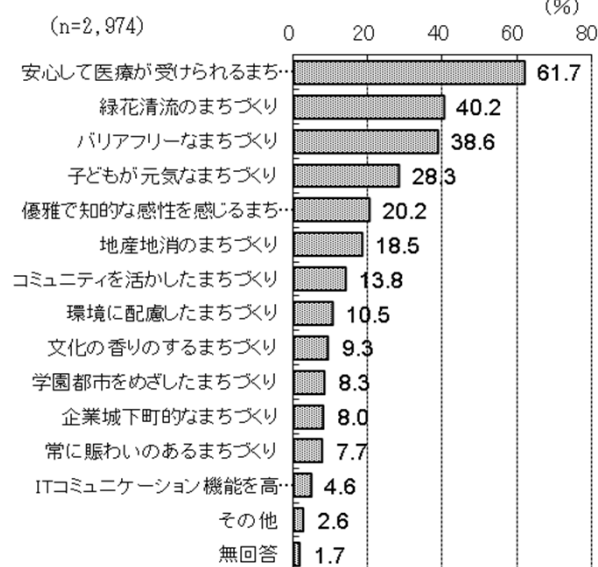
本市には、平成27年3月現在で、東葛北部二次保健医療圏の中核医療機関である国保松戸市立病院を始めとして18の病院があり、一般診療所と歯科診療所を含めると557の施設があります。そのような中で、限りある医療資源を活用し、多様化する医療ニーズに対応するためには、地域の医療機関が役割分担し、相互連携を強化し、地域医療を守っていく必要があります。

また、市民が必要な時に必要な医療を適切に受けられるようにするためには、市民も医療機関の役割を理解し、身近なところに日常的な保健・医療サービスを受けることができる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持つことが大切です。

【特筆すべきニーズの変化】

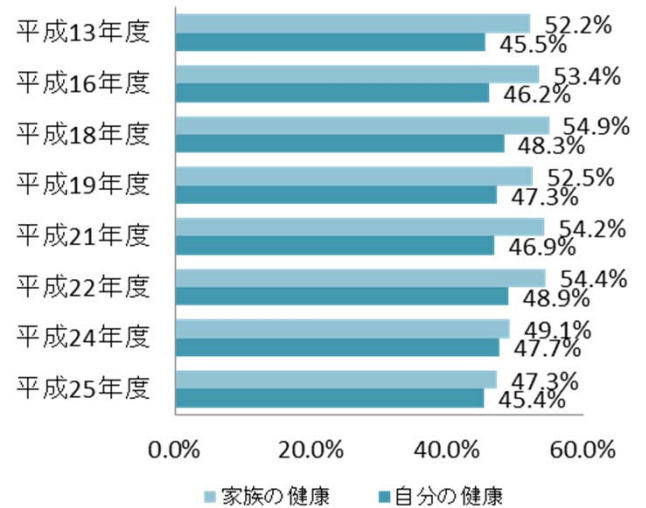
・安心して医療が受けられる医療提供体制の整備が求められています（ニーズの増）

●まちづくりの方向性



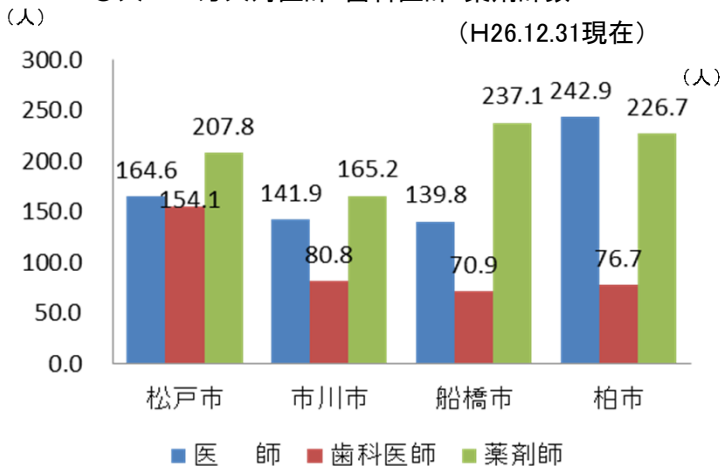
出典 松戸市総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

●自分や家族の健康に不安や心配がある人



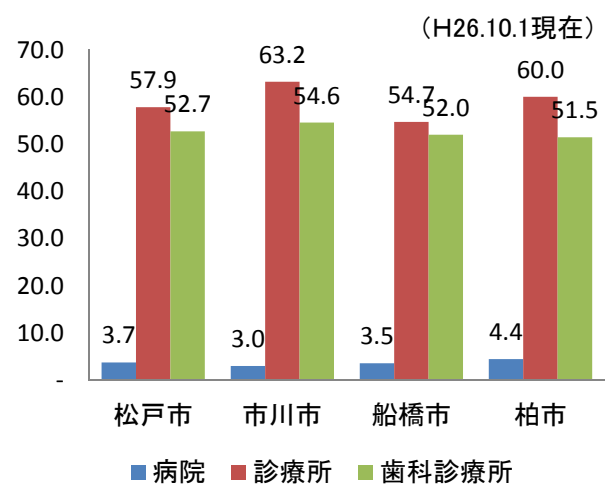
出典：松戸市市民意識調査（平成26年度）

●人口10万人対医師・歯科医師・薬剤師数



出典 千葉県 衛生統計年報

●市町村別にみた人口10万人対医療機関数



出典 千葉県 各種厚生統計調査

2. 施策の展開方向

市民が身近な地域で医療サービスを受けられるよう、日頃から、かかりつけ医をもつように啓発するとともに、地域の中核的な病院と診療所との連携を図り、地域において必要な医療体制の確保を図ります。

松戸市医師会、松戸歯科医師会、松戸市薬剤師会と協力し、急病の時には、休日や夜間であっても市民が安心して医療を受けられる体制を提供します。

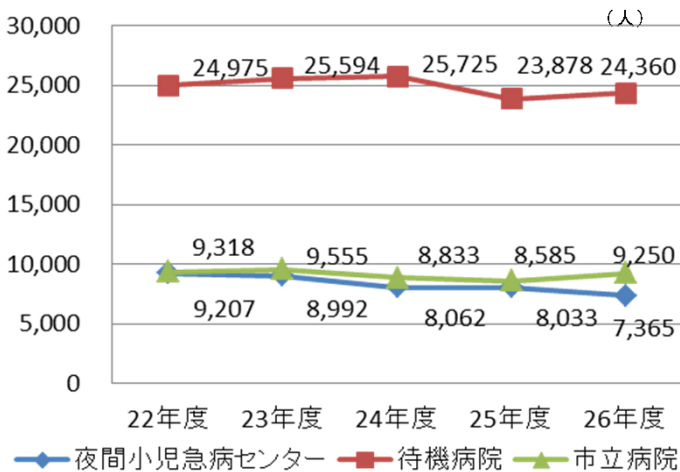
3. 施策を推進していく上での課題

限られた医療資源を有効活用するために、1次、2次、3次という救急医療体制が整備されているので、それらの仕組みを市民に理解してもらうことが必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

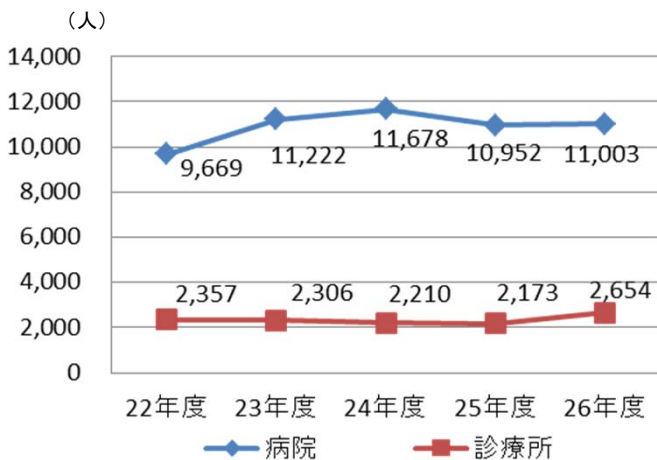
- ① 東葛北部保健医療圏の中核的医療機関としての役割を担い、第3次救命救急医療を提供する市立病院があります（強み）
- ② 15歳以下の子どもを対象に、夜間（18時から23時）に具合が悪くなったときに、薬の処方なども行う夜間小児急病センターがあります（強み）

●松戸市夜間急病救急医療システム実績



出典：松戸市夜間急病診療事業報告書

●松戸市休日急病救急医療システム実績



出典：松戸市夜間急病診療事業報告書

●松戸市夜間・休日急病救急医療システム

夜間・休日・年末年始等の急病・救急案内

その日の診療機関がわかるテレホンサービス ☎ **366-0010**
 案内時間 平日 午後4時半～翌朝午前9時 土曜日・日曜日・祝日 午前9時～翌朝午前9時
 テレホンサービス・医療機関などに電話をする時は、いま一度番号をお確かめ下さい。

▼365日、夜間の急病は
 (午後5時～翌朝午前9時)

成人 (午後5時～翌朝午前9時) → 待機病院(2次) → 市立病院(3次)
 小児 (午後6時～午後11時) → 夜間小児急病センター(360-8900) → 内科系当番病院(小児科系当番病院) → 外科系当番病院 → 市立病院(救命救急センター)

▼休日の昼間は、休日当番医(1次)及び待機病院(2次)
 休日の午前9時から午後5時の間、救急患者に対する診療は、松戸市医師会の医師が輪番体制で応急的な処置を行い、更に治療が必要な救急患者に対しては待機病院が診療を行います。

▼休日・土曜日の夜間歯科診療(休日土曜日夜間歯科診療所) 衛生会館内 ☎365-3430
 休日と土曜日の夜間歯科診療(午後8時～午後11時)は、松戸市歯科医師会の医師が輪番体制で応急的な処置を行います。
 ●診療日……土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)・お盆(8月13日～16日)

▼年末年始等の(昼間)応急歯科診療
 年末年始・ゴールデンウィーク・お盆の午前9時から午後5時の間、松戸市歯科医師会の医師が輪番体制で応急的な処置を行います。

これらの事業は、松戸市医師会・松戸市歯科医師会・松戸市薬剤師会の協力のもとに行われています。

案内図



千葉県での小児救急電話相談 ☎043-242-9939 (プッシュ式#8000可)
 毎日、午後7時から午後10時まで行います。(問合せ先:千葉県医療整備課 ☎043-223-3886)

政策4

健康に暮らすことができるようにします

4. 受療環境を整備します

1. 現状と課題

我が国は、平均寿命だけでなく、健康寿命（自立して健康に生活できる年齢）も世界で最も長い最高水準の健康国になりました。一方、出生数が減ってきたこともあり、人口に占める高齢者の割合がかつてないほどに高まっています。こうした中、高齢者は医療サービスを利用する割合が高いため、医療費が年々増大し、医療保険事業の運営が困難になっています。

特に、市町村が運営する国民健康保険の加入者は、退職者や失業者等も含め、他の被用者保険制度の対象とならない人すべてを対象としているため、運営が厳しい状況にあります。そのため、多くの市町村が一般会計から繰出しを行い、保険料の上昇を抑えて国民健康保険事業を運営しています。

【特筆すべきニーズの変化】

- ・国民皆保険制度の安定的運営が望まれています（ニーズの増）

●国保・協会けんぽ・組合健保の比較

比較項目	市町村国保	協会けんぽ	組合健保
加入者数 (平成26年3月末)	3,397万人	3,564万人	2,927万人
加入者平均年齢 (平成25年度)	50.9歳	36.6歳	34.3歳
前期高齢者加入割合 (平成25年度)	35.6%	5.5%	2.8%
1人あたり平均所得 (平成25年度)	83万円	139万円	202万円
1人あたり平均保険料 (平成25年度)	8.5万円	10.6万円	11.4万円
1人あたり診療費 (平成25年度)	32.5万円	16.4万円	14.6万円
年間所得に対する 保険料率	10.3%	7.6%	5.6%

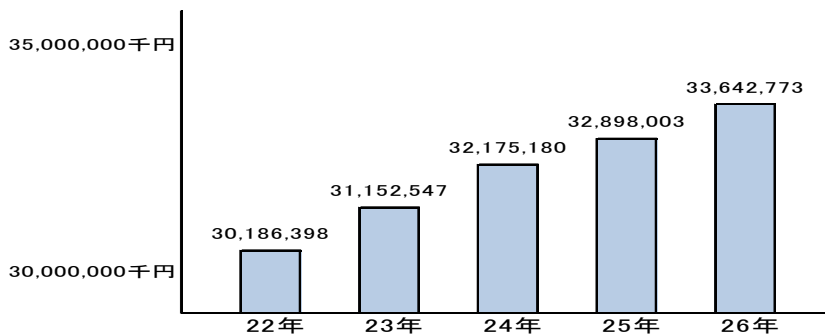
●国保(市町村)の現状

		平成25年度
被保険者数(年度末)		3,397万人
対総人口比		26.7%
1世帯あたり被保険者数		1.69人
前期高齢者加入率		35.6%
世帯主職業	農林水産業	2.6%
	自営業	14.3%
	被用者	35.0%
	無職者	43.4%
	その他	4.7%

昭和36年度		
被保険者数(年度末)		4,511万人
対総人口比		47.0%
1世帯あたり被保険者数		4.2人
前期高齢者加入率		4.8%(老人加入率)
農林水産業		44.7%
自営業		24.2%
被用者		13.9%
無職者		9.4%
その他		7.8%

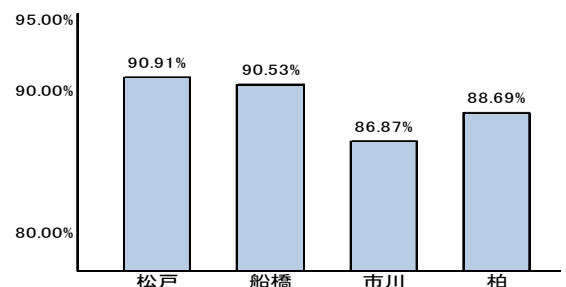
出典:国民健康保険の安定を求めて(国民健康保険中央会)

●保険給付費の推移



出典: 主要な施策の成果に関する説明書

●国保の保険料の収納率(平成26年度 現年度分)



出典: 国民健康保険課決算資料

●保険料(医療分)の賦課状況(平成26年度)

市町村名	所得割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	計(均+平) (円)
松戸	7.52	19,500	18,000	37,500
市川	7.30	12,000	20,400	32,400
船橋	6.50	24,360	0	24,360
柏	5.90	24,000	13,000	37,000

出典: 国民健康保険課決算資料

2. 施策の展開方向

子育て中の家庭や経済的に困窮している家庭でも医療サービスを受けやすくするため各種医療費の助成事業を行い、受療環境の整備を図っていきます。
また、国民健康保険等も適正な事業運営に努めます。

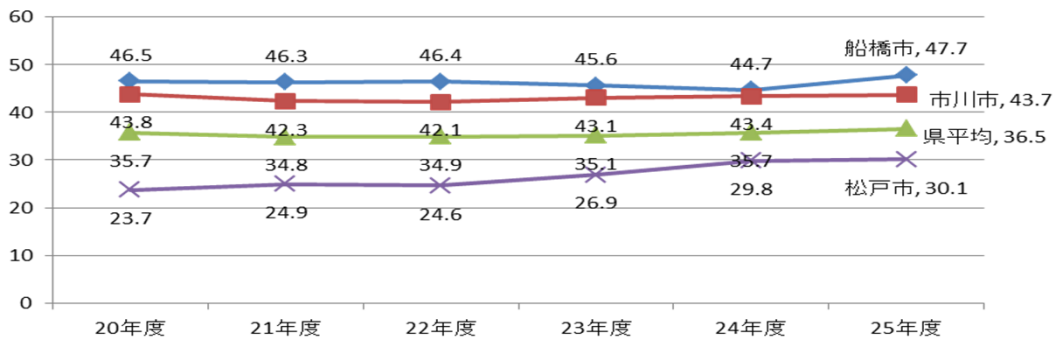
3. 施策を推進していく上での課題

医療費が年々増加傾向にあり、効果的な医療費抑制施策の実施が必要となっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

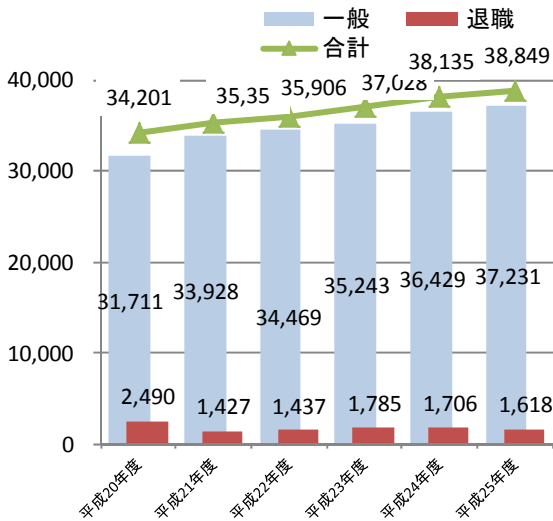
・特定健康診査の受診率は年々増加しているが、近隣他市に比べて低い状況です（弱み）

●特定健康診査受診率の推移



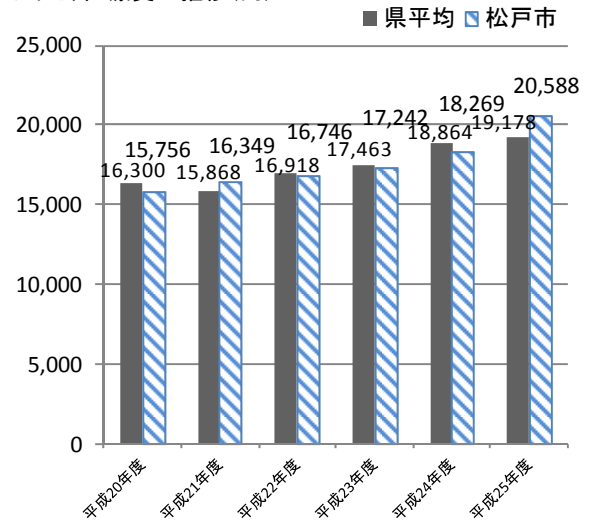
出典：松戸市データヘルス計画

●医療費の推移(総額・百万円)



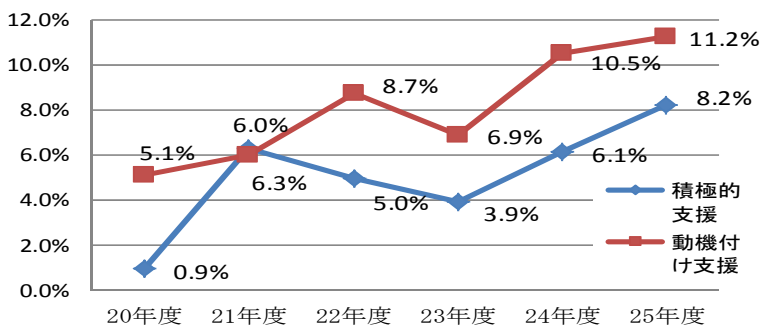
出典：松戸市データヘルス計画

●1人当たり医療費の推移(円)



出典：松戸市データヘルス計画

●特定保健指導実施率の推移(法定報告)



出典：松戸市データヘルス計画